

2026年1月5日

第59回 武雄市短期経済観測調査（たけお短観）の結果について

下記のとおり「第59回武雄市短期経済観測調査（たけお短観）」を実施し、結果をとりまとめましたので、お知らせします。

結果のポイント

現況のDI値については、飲食業では回復傾向が見られ、農業ではやや低減が見られるものの依然としてプラスを維持している。一方、建設業では前回調査から低迷している。全体としては依然としてマイナスにとどまっており、物価高騰に伴うコスト上昇の影響が見受けられる。今後1月から3月にかけての見通しについては、物価高騰の影響が続く中、最低賃金の上昇に伴う人件費増加による経営への圧迫が懸念される。

【武雄市短期経済観測調査（たけお短観）結果】

令和7年12月調査

	前回調査		今回調査			
	A 現況 (R7.9)	見通し (R7.10-12)	調査数	B 現況 (R7.12)	(B-A) 前回現況 との対比	見通し (R8.1-3)
総 合	-35	-7	73	-29	6	-16
農業	50	0	7	14	-36	-14
建設業	-38	-25	8	-63	-25	-13
製造業	-14	-29	9	-11	3	-11
卸売・小売業	-71	-12	18	-50	21	-11
観光業	-44	0	8	-38	7	-38
飲食業	-33	33	6	50	83	17
サービス業	-24	-6	17	-41	-17	-29

- 調査目的 本市経済の景況感をより的確に把握するため
- 調査対象 武雄市内事業所 100箇所(業種別内訳は上表参照)
- 調査方法 オンラインアンケート、FAX、電話等による調査
- 調査内容
 - (1)現在の景況感:良い、普通、悪いのいずれかを回答
 - (2)3ヵ月後の見通し:良くなる、変わらない、悪くなるのいずれかを回答
- 集計方法
 - (1)現在の景況感(2)3ヵ月後の見通しについて、それぞれ回答数の構成比を求めた上で「良い(良くなる)」の構成比から「悪い(悪くなる)」の構成比を引いて「現況DI」、「見通しDI」として指標化しました。
 - 例えば、現在の景況感の「良い」が10%、「普通」が40%、「悪い」が50%の場合は、-40となります。
 - 「DI」(Diffusion Index、デフージョン・インデックス)は、企業や業界の景況感などを数値化した指標の事で、日本銀行の「全国企業短期経済観測調査」(日銀短観)などで用いられています。